



# Kiwi Report

第2号 2019/11/6

## 11月5日（火） ◆登校～ESOL の授業

登校2日目となります。子どもたちも少しずつ慣れてきたようですが、まだまだコミュニケーションを取るのは難しい様子です。昨日までの高温とは違い、少し肌寒いくらいです。これが、この時期のダーフィールドで、今日の天気が普通のようです。

最初は ESOL（英語）の授業です。前日の自己紹介の続きから始まり、マオリ語と英語の違い、ニュージーランドの地理やお金について習いました。耳が少し慣れたのか、緊張が解けたのか前日よりも発言も積極的になつた気がします。NZ の紙幣のことは事前研修でも習っていたのですが、日本の一一番高価な紙幣について聞かれ、100万円と答えてみたり、一番安価な紙幣を1円と答えたりと、珍回答だらけの和やかな雰囲気での授業でした。



## ◆歓迎朝会

その後は、歓迎朝会に参加。モリス校長先生の挨拶後、交換留学で湧別を訪れたマックスとハイデンから日本語による歓迎の言葉をもらい、多くの生徒の前で尾山団長と中高生リーダーの齊藤萌さんの挨拶、それから全員が自己紹介を行いました。団長を含め、生徒たちはかなり緊張していましたが、全員きちんと挨拶することができました。何度も練習をしてきた成果を見せることができたと思います。



齊藤萌さんからの代表スピーチ

## ◆セルウィン町長表敬訪問

朝会を終えると、徒步で役場支所へ移動し、プロウトン町長やモートン議長らを表敬訪問しました。プロウトン町長からは歓迎の挨拶とセルウィン町についての説明をいただきました。セルウィン町の人口は急速に増えていること、高齢化率や失業率も国内では低い地域であること、その理由として工業地域を整備したといった話を一同は興味深く聞いていました。

その後、団長から受け入れのお礼のスピーチを行い、齊藤萌リーダーから町長と議長に石田町長からの親書を手渡しました。そして、全員が自己紹介をしましたが、先ほど朝会で挨拶したばかりなので、とても滑らかに、全員が上手にできました。

次は、日本文化についてのスピーチです。ESOLで学んでいるおかげなのか、全員事前研修や出発式の時よりも大きな声で発表ができていました。さよならパーティではもっとうまく披露できそうです。

団長から、記念品としてセルウィン町とマルバーンコミュニティ議会にダルマをプレゼントし、セルウィン町からも全員に記念品をいただきました。ダルマはラグビーのニュージーランド代表（オールブラックス）が日本で記念にもらったことを皆さん知っていたようで、大変喜ばれました。

そして、生徒たちにとっては本日のメインイベント、よさこいの披露です。ずっと緊張状態にあったからか、最後の練習から時間がたっているからかはわかりませんが、大きな声は出ていたものの、正直出来はイマイチ！さよならパーティでは成功させようと話し合いました。

最後に参加者全員で記念撮影を行い、ティータイム！昨年、来町したカレンさん手作りのお菓子をいただきながら色々な話をしました。



日本文化についてのスピーチ



石田町長からの親書を渡しました。



プロウトン町長へダルマを渡し、この後、一緒に目を入れました。



よさこいの披露